



第2820地区

HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

世界に希望を生み出そう

例会報告 週報 No.28

【開催日】令和6年4月2日(火) 12:00 開会
【例会場所】要害クラブ 【進行】朝日会員
【プログラム】外部卓話 / 社会奉仕委員会



会長の時間

川村会長

会長の時間をいただきます。

先週、ベトナムに5日間行ってきました。外国人技能実習生の組合の理事をしており、その関連での渡航です。

ベトナムでは、2014-15年度に当クラブでお世話をしました米山奨学生マク・レ・ハー君にも会ってきました。

マックは、日本企業のハノイ支店に就職したのですが、3年前に建設会社を設立し、独立しています。建築現場や幼稚園などを視察させていただきました。ベトナムは子供が本当に多かったです。

マックは、米山奨学生として奨学金をいただいていたことは、今自分で稼ぐようになって、ありがたみがよくわかると話していました。

以上、会長の時間といたします。ありがとうございました。



出席報告

高島会員

会員数	出席	欠席	出席率	MakeUp	修正	免除
33名	18名	15名	56.25%	-名	56.25%	4名



ニコニコBOX

高島会員

☆ 結婚記念日のお花ありがとうございました。本日、息子が4歳の誕生日です。

石川クリニック



本日もニコニコBOXへのご協力誠にありがとうございました



本日計	1,000円	累計額	662,000円
-----	--------	-----	----------



幹事報告

高島幹事

- 本日例会後、理事会開催いたします。理事の皆様よろしくお願いたします。
- 次年度米山奨学生の詳細が届きました。茨城大学博士課程の崔少東(さいしょうとう)さんです。中国国籍です。4月から来年9月までとなります。よろしくお願いたします。



プログラム

卓話

社会奉仕委員会

千葉委員長



委員会報告

公共イメージ委員会

鹿志村委員長

- 今月の「ロータリーの友」読みどころ
横14ページ、「茨城から能登へ緊急支援隊派遣」の記事が載っています。31ページ、水戸西RCのフードパントリー事業について掲載されています。当クラブでも今年度の地区補助金事業は同内容となっています。
縦9ページ、落語家の文珍さんもロータリアンだそうで、インタビュー記事が掲載されています。

- 本日は、社会奉仕委員会の外部卓話ということで、茨城県赤十字血液センターより、石田様と大高様にお越しいただいております。
- 献血事業について、いろいろお話しをいただけたと思います。
- 私も10年くらい前まで、献血を定期的におこなっていました。
- 昨年、家族が入院した際、急遽輸血が必要になり、

あらためて、献血の大切さやありがたみを実感した次第です。

- ぜひ今日の卓話をお聞きいただき、ご自身のみならずご家族や会社の社員の皆様にお伝えいただき、献血活動にご協力をいただければと思っております。
- それでは、卓話よろしくお願いたします。


茨城県赤十字血液センター 石田克幸様・大高由芽様



- こんにちは。本日は貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。
- 本日は、献血の現状ということで、献血の基礎知識・献血の現状・今後に向けて必要なことの3つをお話しさせていただきます。
- まず、献血とは、病気やけがで輸血を必要としている患者さんのために、健康な人が自分の血液を無償で提供するボランティアです。
- 全ての輸血に使われる血液は、みなさんの献血により支えられています。
- 輸血が必要になる時は、病気で健康な血液がつかれないとき、大けがで大量出血したとき、手術で突然大量出血したときなどです。使用用途で一番多いのが病気（主にかん治療）です。
- 輸血を受けた年代は、70%以上が60歳以上です。しかし、若者も輸血を受ける可能性があります。
- 献血は、国民運動として取り組む必要があります。
- 血液製剤は、人工的に造ることができず、保存期限が短いです。よって、常に健康な人たちからの献血によって、輸血に必要な血液を確保する必要があります。
- 献血ができる場所は、献血バスや献血ルーム（水戸・つくば）です。

- 次に、献血の現状です。
- 茨城県では、コロナ禍を契機とした献血機会の減少とそれに伴う実献血者が減少しています。支えているのは、複数回献血者（リピーター）によるところが大きいです。
- 日立市では、市役所など公的機関での献血実施がコロナ禍前に比べて倍増しているため、茨城県全体の傾向と異なり回復傾向です。しかし、5年前の水準には戻り切っていません。
- 若年層の献血者が減少していますが、40代以上の献血者は増えています。若年層が減ったのは、職場献血の実施機会が減っているからです。
- 「輸血を必要としている人が予測より増えている」「年齢が高い人が年齢が高い人を支えている」「若い方の献血協力が少なくなっている」のが現状です。
- 以下、今後に向けて必要なことです。
- 実献血者を増加させる（初回献血者も含む）
- 複数回献血協力いただける方を増加させる
- 若年層（30代以下）の献血協力者を増加させる
- 献血協力いただける団体様・企業様を増加させる
- 皆様のお力添えをよろしくお願いたします。
- 最後に、献血 Web 会員システム「ラブラッド」をご紹介します。ご紹介させていただきます。問診など事前に入力ができますので、スムーズな献血が可能となります。ぜひご利用いただければと思います。
- ご清聴ありがとうございました。

会長の点鐘をもって閉会。

Rotary  日立南ロータリークラブ

■会 長：川 村 昌 弘 ■副 会 長：朝 日 正 道
■幹 事：高 島 章 行 ■会 報 委 員：鹿 志 村 高 道

【例 会 場】 要害クラブ TEL (0294) 36-2020
【例 会 日】 毎週火曜日 12:00~13:00
【事 務 所】 日立市桜川町 2-25-3 桜川第 2 ビル 201 号室
TEL (0294) 36-5074 FAX (0294) 37-2176
Mail: info@hitachi-south-rc.org

次 回 例 会： 令和 6 年 4 月 9 日（火） 【プログラム】 家族同伴観桜例会 / 親睦活動委員会